

第2日目 6月12日(金) 第1会場 1Fメインホール

主催校企画 1【共通講習 必修 A：医療倫理】 9:10～11:10

研究公正 座長：松本 和彦（信州大）

- SP1-1. 基礎研究における研究公正確保のために
9:10～10:10 長村 文孝〈ながむら ふみたか〉
東京大学医科学研究所先端医療研究センター先端医療開発推進分野
- SP1-2. 研究公正～臨床研究実施に際して気をつけたいこと～
10:10～11:10 山浦 麻貴〈やまうら まき〉
信州大学医学部附属病院臨床研究支援センター

ランチョンセミナー 11 11:20～12:20

長期寛解を見据えたアトピー性皮膚炎の薬剤選択... 座長：阿部理一郎（新潟大）
福本 毅（京都府立医大）

- LS11-1. Real-world data から考察する、アドトラザーザ®の有効性
辻 学^{1,2)}〈つじ がく〉
九州大学病院油症ダイオキシシン研究診療センター¹⁾，九州大学病院皮膚科²⁾
- LS11-2. アトピー性皮膚炎に対するアドトラザーザ®の有効性
～日本人のリアルワールドエビデンスから考える～
萩野 哲平〈はぎの てっぺい〉
日本医科大学千葉北総病院

共催：レオファーマ株式会社

皆見省吾記念賞受賞記念講演 12:30～13:00

座長：藤本 学（大阪大）

- MA. Conversion of pathogenic T cells into functionally stabilized Treg cells for antigen-specific immunosuppression in pemphigus vulgaris
向井 美穂〈むかい みほ〉
慶應義塾大学

表彰式 13:00～13:30

雑誌論文賞表彰式
日本皮膚科学会雑誌振興賞表彰式
名誉会員之証授与式
公的機関出向者感謝状授与式

令和8年度 Master of Dermatology(Maruho)授賞式・受賞記念講演 13:30～13:50

座長：藤本 学（大阪大）

- マルホ受賞者. 1) 正常皮膚と病変の微細構築と、それに基づく解剖学的イラストの提供
2) 見届けた症例の学会報告による情報の共有

今山 修平 〈いまやま しゅうへい〉

今山修平クリニック&ラボ

特別講演 3 13:55～14:55

座長：奥山 隆平（信州大）

- SL3. 創薬・臨床開発研究のパラダイムシフトとその対応に向けて

13:55～14:55

大津 敦^{1,2)} 〈おおつ あつし〉

公益財団法人がん研究会研究本部¹⁾, 国立がん研究センター東病院名誉院長²⁾

スポンサードシンポジウム 2 15:05～17:05

All Ageで考えるType2 皮膚疾患治療

.....座長：大槻マミ太郎（自治医大）

馬場 直子（神奈川県立こども医療センター）

室田 浩之（長崎大）

- SSY-op. 全年齢におけるアトピー性皮膚炎の治療ゴール

片岡 葉子 〈かたおか ようこ〉

大阪はびきの医療センター

- SSY2-1. Type2 炎症と免疫記憶から考えるアトピー性皮膚炎の治療戦略

川本 典生^{1,2)} 〈かわもと のりお〉

岐阜大学医学部附属病院小児科¹⁾, 岐阜大学医学部附属病院アレルギーセンター²⁾

- SSY2-2. 中高年成人のアトピー性皮膚炎と結節性痒疹の病態と Type2 皮膚疾患としての治療戦略

種井 良二 〈たねい りょうじ〉

東京都健康長寿医療センター

- SSY-cl. 幅広い年齢層で患者の人生に寄り添うアトピー性皮膚炎診療

常深祐一郎 〈つねみ ゆういちろう〉

埼玉医科大学

共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

イブニングセミナー 9

17:15~18:15

アトピー性皮膚炎治療の課題～クリニカルイナーシャの視点から～

.....座長：藤本 学（大阪大）

- ES9-1.** アトピー性皮膚炎診療に潜む **Clinical Inertia** と医療者に求められる変革
石氏 陽三 〈いしうじ ようぞう〉
東京慈恵会医科大学皮膚科学講座
- ES9-2.** **Early Intervention and Treatment Strategies in Atopic Dermatitis : Insights from CLCI**
Stephan Weidinger
Chair and Director, Department of Dermatology and Allergy, University Medical
Center Schleswig-Holstein, Kiel, Germany

共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

第2日目 6月12日(金) 第2会場 1F さくら

Asian Future Leaders Symposium

9:10~11:10

座長：渡邊 玲（順天堂大）
中島沙恵子（京都大）
氏家 英之（北海道大）

- AFL-1.** **Advancing Dermatological Care through Research-Innovation-Entrepreneurship**
9:10~9:40
Hong Liang Tey^{1,2)}
National Skin Centre, National Healthcare Group, Singapore¹⁾, Lee Kong Chian School
of Medicine, Nanyang Technological University, Singapore²⁾
- AFL-2.** **Toward Precision Phenotyping and Management of Sensitive Skin**
9:40~10:10
Hye One Kim
Department of Dermatology, Hallym University Kangnam Sacred Heart Hospital, Seoul
- AFL-3.** **Therapeutic Evolution and the Emerging Concept of Disease Memory in Psoriasis**
10:10~10:40
Sayaka Shibata
Department of Dermatology, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo,
Tokyo
- AFL-4.** **Integrating Research into Real-world Care : Clinical Stories of Keloids and Genodermatoses**
10:40~11:10
Chao-Kai Hsu
Department of Dermatology, National Cheng Kung University Hospital, College of
Medicine, National Cheng Kung University, Tainan

ランチョンセミナー 12

11:20~12:20

皮膚免疫学の新たな視点と病態 座長：島田 眞路（山梨大名誉教授）
浅野 善英（東北大）

- LS12-1. 薬剤関連類天疱瘡の病態と最新研究
氏家 英之〈うじいえ ひでゆき〉
北海道大学大学院医学研究院皮膚科学教室
- LS12-2. 皮膚 resident memory T細胞と皮膚疾患
渡邊 玲〈わたなべ れい〉
順天堂大学医学部・大学院医学研究科皮膚科

共催：常盤薬品工業株式会社 ノブ事業部

教育講演 29

15:05~17:05

あたらしい自己免疫性水疱症診療 オーガナイザー：青山 裕美（川崎医大）
氏家 英之（北海道大）

[レベル：Basic / Advanced / Update]

- EL29-1. AIBD : Pathophysiology and Emerging Therapy
15:05~15:35 Seon-Pil Jin
Seoul National University Hospital, Seoul
- EL29-2. 天疱瘡診療ガイドライン 2026
15:35~16:05 山上 淳〈やまがみ じゅん〉
東京女子医科大学皮膚科
- EL29-3. 生物学的製剤は類天疱瘡の診療を変えるか？
16:05~16:35 氏家 英之〈うじいえ ひでゆき〉
北海道大学大学院医学研究院皮膚科学教室
- EL29-4. 薬剤関連発症の水疱性類天疱瘡の最新の知見
16:35~17:05 古賀 浩嗣〈こが ひろし〉
久留米大学医学部皮膚科学講座

English Session 2

17:15~18:15

Cutting-Edge Aesthetic Dermatology Around the World

..... 座長：阿部理一郎（新潟大）
山口 由衣（横浜市立大）

- ENG2-1. The Evolution of Hair Restoration : From Current Standards to Future Frontiers
17:15~17:45 Venkataram Mysore
Dermatologist-Hair Transplant Surgeon-Dermatopathologist, Venkat Center for
aesthetic health Bangalore, Bangalore

ENG2-2. Mesotherapy : Evidence-Based Medicine Update

17:45~18:15

Khaled Salem Al Nuaimi^{1,2)}

Consultant Dermatologist & Laser Surgeon¹⁾, College of Medicine and Health Sciences,
UAE University, Al Ain²⁾

第2日目 6月12日(金) **第3会場** 2F Room A

スポンサードシンポジウム 1

9:10~11:10

アトピー性皮膚炎治療の原点回帰—外用薬の正しい使い方—

.....座長：片岡 葉子（大阪はびきの医療センター）
常深祐一郎（埼玉医大）

SSY1-1. アトピー性皮膚炎の病態と治療：外用療法の課題と今後の展望

常深祐一郎〈つねみ ゆういちろう〉
埼玉医科大学皮膚科

SSY1-2. アトピー性皮膚炎診断治療アルゴリズムの特徴と活用

中原 剛士〈なかはら たけし〉
九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野

SSY1-3. アトピー性皮膚炎：外用療法を成功させるために

加納 宏行〈かのう ひろゆき〉
岐阜市民病院皮膚科

SSY1-4. Think proactive, Do proactive：外用療法成功のコツ

片岡 葉子〈かたおか ようこ〉
大阪はびきの医療センター皮膚科

共催：岩城製薬株式会社

ランチョンセミナー 13

11:20~12:20

円形脱毛症患者さんの広がる治療選択肢

~リットフォー口による治療タイミング~座長：大山 学（杏林大）

LS13-1. Real World Data から考えるリットフォー口の使い方・すすめ方

乾 重樹^{1,2)}〈いぬい しげき〉
心斎橋いぬい皮膚科¹⁾, 大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学²⁾

LS13-2. 治験データと実臨床からみるリトレシチニブ治療の tips

木下 美咲〈きのした みさき〉
杏林大学医学部皮膚科学教室

共催：ファイザー株式会社

足・爪の診療とケアの最前線

.....オーガナイザー：高山かおる（埼玉県済生会川口総合病院）
齋藤 昌孝（麻布台クリニック）

[レベル：Basic]

- EL30-1. Basics of Nail Disease Treatment - Lessons from Australia's only Dedicated Nail and Nail Procedure Clinic**
 15:05～15:35
 Johannes S Kern
 Dermatology, The School of Translational Medicine, Monash University and Bayside Health - The Alfred, Melbourne
- EL30-2. 陥入爪・巻き爪診療の実践的コツー治療選択から爪外来運営までー**
 15:35～16:05
 尾崎紗恵子〈おざき さえこ〉, 佐伯 秀久
 日本医科大学附属病院
- EL30-3. なぜ院内ネイルサロンを開設したのか？～アピアランスケアのSDGsを目指して～**
 16:05～16:35
 福島 聡¹⁾〈ふくしま さとし〉
 熊本大学大学院生命科学研究部皮膚病態治療再建学講座¹⁾,
 株式会社ルミエール・ド・ローブ²⁾
- EL30-4. 足爪トラブルを防ぐ靴指導の要点**
 16:35～17:05
 今井亜希子〈いまい あきこ〉
 ひかり在宅クリニック皮膚科

天疱瘡治療と今後の展望 ～患者さん視点を踏まえたアプローチ～

.....座長：青山 裕美（川崎医大）

- ES10-1. 患者さんから見た天疱瘡という病気とは？**
 ー病気や治療に伴う困難と Quality of Life への影響ー
 種村 智香〈たねむら ちか〉
 武庫川女子大学大学院看護学研究科成人慢性看護学分野
- ES10-2. 天疱瘡患者さんに最も役立つリツキシマブ治療を届ける**
 山上 淳〈やまがみ じゅん〉
 東京女子医科大学皮膚科

共催：全薬工業株式会社

第2日目 6月12日(金) 第4会場 1F アネックスホール 2

主催校企画 2

9:10~11:10

皮膚科学を未来へつなぐ—退官教授から若き皮膚科医へ—①

.....座長：加藤 則人（京都府立医大）
木庭 幸子（信州大）

- SP2-1.** 琉球大学皮膚科でのフィールドワークと、ヒト皮膚の進化のちょっとしたお話し
9:10~9:50 高橋 健造¹²⁾〈たかはし けんぞう〉
琉球大学名誉教授¹⁾，国立療養所沖縄愛楽園²⁾
- SP2-2.** 表皮の分化・バリア形成のメカニズムの解明と表皮分化疾患の治療への挑戦
9:50~10:30 秋山 真志¹²⁾〈あきやま まさし〉
名古屋大学名誉教授¹⁾，新百合ヶ丘総合病院皮膚疾患研究所²⁾
- SP2-3.** 全身疾患に伴う皮膚症状と皮膚科独自疾患～多くの出会いに導かれて～
10:30~11:10 石黒 直子〈いしぐろ なおこ〉

ランチョンセミナー 14

11:20~12:20

光老化から皮膚を守る紫外線防御と攻めのスキンケア

～抗酸化作用に着目して～座長：森脇 真一（大阪医科薬科大）

野本真由美（野本真由美スキンケアクリニック）

- LS14-1.** 光老化のメカニズム
森脇 真一〈もりわき しんいち〉
大阪医科薬科大学皮膚科
- LS14-2.** 光老化対策の実際～日焼け止め製剤の特性と使い分け～
山本 晴代〈やまもと はるよ〉
近畿大学病院皮膚科学教室
- LS14-3.** 光老化の治療に最適な肌の作り方
山内 華子〈やまうち はなこ〉
御所南はなこクリニック

共催：ゼオスキンヘルス合同会社

主催校企画 3

15:05~16:25

皮膚科学を未来へつなぐ—退官教授から若き皮膚科医へ—②

.....座長：奥山 隆平（信州大）
森田 明理（名古屋市立大）

- SP3-1.** より良き皮膚科医となるために
15:05~15:45 石河 晃〈いしこう あきら〉
東邦大学名誉教授

SP3-2. これまでの40年、これからの40年—若き皮膚科医へのメッセージ—
15:45~16:25 天谷 雅行^{1,2)} 〈あまが い まさゆき〉
理化学研究所統合生命医科学研究センター¹⁾, 慶應義塾大学名誉教授²⁾

イブニングセミナー 11 17:15~18:15

Start now For the future~乾癬治療を再考する~

.....座長：宇原 久 (札幌医大名誉教授)
佐伯 秀久 (日本医大)

ES11-1. 長期予後を見据えた治療戦略とトレムフィアの強み

鶴田 紀子 〈つるた のりこ〉
福岡大学医学部皮膚科学教室

ES11-2. リウマチ専門医が考える乾癬性関節炎

岸本 暢将 〈きしもと みつまさ〉
杏林大学医学部腎臓・リウマチ膠原病内科

共催：ヤンセンファーマ株式会社

第2日目 6月12日(金) **第5会場** 1F Room D

教育講演 21 9:10~11:10

学校保健・小児皮膚科の最新情報

.....オーガナイザー：原田 栄 (原田皮膚科クリニック)
小林 里実 (聖母病院)

[レベル：Basic/Advanced/Update]

EL21-1. 子どもの心と皮膚

9:10~9:40 檜垣 祐子^{1,2,3)} 〈ひがき ゆうこ〉
若松町こころとひふのクリニック¹⁾, 東京女子医科大学²⁾,
藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科³⁾

EL21-2. 思春期痤瘡の治療とスキンケア

9:40~10:10 林 伸和 〈はやし のぶかず〉
虎の門病院皮膚科

EL21-3. 学校保健の健康課題としての近視—デジタルデバイス時代の予防と対応—

10:10~10:40 近藤 永子^{1,2)} 〈こんどう ながこ〉
眼科三宅病院¹⁾, 日本眼科医会²⁾

EL21-4. 現代の思春期の現状と性感染症対策

10:40~11:10 渡會 睦子^{1,2,3)} 〈わたらい むつこ〉
東京医療保健大学医療保健学部¹⁾,
東京医療保健大学地域健康づくり研究・教育センター²⁾,
一般社団法人住民とともに活動する保健師の会³⁾

知っておきたい！アトピー性皮膚炎におけるIL-13 …座長：神戸 直智（兵庫医大）

LS15-1. アトピー性皮膚炎の病態における IL-13 の役割—最近の研究から明らかになったこと—
澤田 雄宇〈さわだ ゆう〉

産業医科大学医学部皮膚科学教室

LS15-2. 臨床から考える中等症アトピー性皮膚炎治療と IL-13

益田 浩司〈ますだ こうじ〉

京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学

パネルディスカッション

IL-13 を標的としたアトピー性皮膚炎治療の現状と今後の展望—基礎から臨床応用まで—
パネリスト

澤田 雄宇（産業医科大学医学部皮膚科学教室）

益田 浩司（京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学）

共催：日本イーライリリー株式会社 研究開発・メディカルアフェアーズ統括本部

皮膚科から行政出向するとどうなるの？～省庁出向者が語るホントのところ～

……………オーガナイザー：大湖健太郎（高知大）

大瀧 薫（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）

[レベル：Basic]

15:05～15:10 **Opening remarks**

EL31-1. 臨床医の立場から経験した行政出向の実際

15:10～15:25 佐藤 裕範〈さとう ひろのり〉

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課

EL31-2. 2年後に意外な結末—臨床医が PMDA で学んだこと—

15:25～15:40 八代 将登〈やしろう まさと〉

岡山大学病院新医療研究開発センター

EL31-3. 行政出向の経験を皮膚科医としてのキャリアに活かす—AMED・国際機関から AI・リアル
ワールド研究へ

15:40～15:55 足立 剛也^{1,2,3)}〈あだち たけや〉

慶應義塾大学医学部皮膚科学教室¹⁾，慶應義塾大学殿町先端研究教育連携スクエア²⁾，
京都府立医科大学大学院医学研究科医療フロンティア展開学³⁾

EL31-4. AMED への出向の経験：一期一会

15:55～16:10 石井 健〈いしい けん〉

東京大学医科学研究所

EL31-5. 官・学・民を越えるキャリア—医師から企業へ，多様な働き方—

16:10～16:25 秋月 玲子〈あきづき れいこ〉

アムジェン株式会社

16:25～17:00 **パネルディスカッション**

17:00～17:05 **Closing remarks**

マイクロバイオーームに着目したダーマコスメの臨床応用～がんサポーターケア
アとアトピー性皮膚炎寛解維持～座長：川島 眞（東京女子医大名誉教授）

- ES12-1. がんサポーターケアにおけるスキンケアの EBM とマイクロバイオーーム制御の展望
神人 正寿 〈じん にん まさとし〉
和歌山県立医科大学皮膚科
- ES12-2. 生物学的製剤治療中のアトピー性皮膚炎患者に生じる顔面紅斑への保湿外用剤の臨床的有用性の検討
大城 宏治 〈おおしろ こうじ〉
大城皮膚科クリニック大宮本院

共催：日本ロレアル株式会社 ラ ロッシュ ポゼ

プログラム
6月12日

第 2 日目 6月12日(金) 第 6 会場 1F Room E

教育講演 22

9:10~11:10

皮膚科領域の分子標的薬（生物学的製剤と低分子化合物）治療を極める

.....オーガナイザー：佐伯 秀久（日本医大）
天野 博雄（岩手医大）

[レベル：Basic]

- 9:10~9:12 はじめに
- EL22-1. Pathogenesis of psoriasis : a focus on the effects of microbiome, diet, and obesity
9:12~9:41 Sam T Hwang
Dermatology, UC Davis School of Medicine, Sacramento
- EL22-2. 乾癬への分子標的薬治療
9:41~10:10 多田 弥生 〈ただ やよい〉
帝京大学医学部皮膚科学講座
- EL22-3. 悪性黒色腫への分子標的薬治療
10:10~10:39 帆足 俊彦 〈ほあし としひこ〉
日本医科大学皮膚科
- EL22-4. アトピー性皮膚炎に対する分子標的薬
10:39~11:08 常深祐一郎 〈つねみ ゆういちろう〉
埼玉医科大学皮膚科
- 11:08~11:10 まとめ

ランチョンセミナー 16

11:20~12:20

ウイルス性疣贅治療の最前線2026座長：渡辺 大輔（愛知医大）
三石 剛（さいたま赤十字病院）

- LS16-1. ウイルス性いぼの治療 up to date
三石 剛〈みついし つよし〉
日本赤十字社さいたま赤十字病院皮膚科
- LS16-2. 性感染症ガイドライン 2026—尖圭コンジローマ徹底解説—
渡辺 大輔〈わたなべ だいすけ〉
愛知医科大学皮膚科

共催：小太郎漢方製薬株式会社

English Session 1

15:05~17:05

Dermatology Today座長：猪爪 隆史（千葉大）
大磯 直毅（近畿大奈良病院）

- ENG1-1. Emerging Frameworks for Integrated Global Health Dermatology
15:05~15:45 Claire Fuller
London Bridge Hospital, London
- ENG1-2. AI in Dermatology Journals
15:45~16:25 Kanade Shinkai^{1,2)}
Dermatology, University of California San Francisco, San Francisco¹⁾, Editor, JAMA
Dermatology, Cicago²⁾
- ENG1-3. Best of JAAD
16:25~17:05 Dirk M. Elston
Department of Dermatology, Medical University of South Carolina, Charleston

イブニングセミナー 13

17:15~18:15

皮膚科専門医だからこそ向き合うべき蕁麻疹と治療の在り方
.....座長：猪又 直子（昭和医大）
室田 浩之（長崎大）

- ES13-1. 改訂蕁麻疹診療ガイドラインから読み解く最新の蕁麻疹診療
福永 淳〈ふくなが あつし〉
大阪医科薬科大学医学部感覚器機能形態医学講座皮膚科学
- ES13-2. 蕁麻疹の症状把握と治療強化のタイミングを考える
千貫 祐子〈ちぬき ゆうこ〉
島根大学医学部皮膚科

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

第2日目 6月12日(金) 第7会場 2F Room B-1

教育講演 23

9:10~11:10

無菌性炎症と皮膚疾患—自己炎症の視点から紐解く難治性病態と治療戦略—

.....オーガナイザー：杉浦 一充（藤田医大）
金澤 伸雄（兵庫医大）

プログラム
6月12日

[レベル：Advanced/Update]

- EL23-1. 自己炎症性角化症：遺伝学的背景から迫る炎症の本態**
9:10~9:40 武市 拓也^{1,2)}〈たけいち たくや〉
名古屋大学大学院医学系研究科皮膚科¹⁾、名古屋大学高等研究院²⁾
- EL23-2. 汎発性膿疱性乾癬（GPP）：IL-36 受容体阻害薬が変えた治療パラダイム**
9:40~10:10 佐藤 絵美〈さとう えみ〉
福岡大学医学部皮膚科学教室
- EL23-3. 化膿性汗腺炎の病態を理解し、最前線の治療を学ぼう**
10:10~10:40 乃村 俊史〈のむら としふみ〉
筑波大学医学医療系皮膚科
- EL23-4. 壊疽性膿皮症（PG）：好中球性皮膚症から自己炎症性疾患としての理解**
10:40~11:10 樋口 哲也〈ひぐち てつや〉
東邦大学医療センター佐倉病院皮膚科

ランチョンセミナー 17

11:20~12:20

マルチプラットフォームで叶えるオーダーメイド治療

.....座長：秋田 浩孝（藤田医大ばんだね病院）

- LS17-1. マイクロニードル RF 治療における基礎理解と症例から学ぶ実践ポイント**
木村有太子^{1,2)}〈きむら うたこ〉
順天堂大学医学部皮膚科学講座¹⁾、ドクターSPA・クリニック²⁾
- LS17-2. マルチプラットフォーム型マイクロニードル RF を用いた適応別アプローチの検討**
竹井賢二郎〈たけい けんじろう〉
天神竹井皮膚科・美容皮膚科

共催：Jeisys Medical Japan 株式会社

スポンサードシンポジウム 3

15:05~17:05

炎症性皮膚疾患の治療戦略アップデート～エビデンスから考える最適解～

.....座長：馬淵 智生（東海大）
井川 健（獨協医大）

- SSY3-1. 患者さんの視点を意識した乾癬治療戦略：長期的な QOL の改善を目指すために**
藤田 靖幸〈ふじた やすゆき〉
旭川医科大学皮膚科学講座

- SSY3-2. 化膿性汗腺炎の本邦における治療戦略について
西田 絵美〈にしだ えみ〉
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター皮膚科
- SSY3-3. 病態理解を踏まえたアトピー性皮膚炎の標準治療～患者と共に目指す治療ゴール～
中島沙恵子〈なかじま さえこ〉
京都大学皮膚科
- SSY3-4. アトピー性皮膚炎診療における治療満足度向上への実践的アプローチ
茂木精一郎〈もてぎ せいいちろう〉
群馬大学大学院医学系研究科皮膚科学

共催：アッヴィ合同会社

イブニングセミナー 14

17:15～18:15

そうだ、エキシマレーザーを学ぼう。～難治性皮膚疾患治療戦略～

.....座長：今福 信一（福岡大）

- ES14-1. 皮膚疾患治療におけるエキシマレーザーの可能性
牧野 輝彦〈まきの てるひこ〉
富山大学学術研究部医学系皮膚科学
- ES14-2. エキシマレーザーの威力！ 当院の治療風景を覗いてみよう！
西村 陽一〈にしむら よういち〉
にしむら皮フ科クリニック

共催：株式会社ジェイメック

第2日目 6月12日（金） 第8会場 2F Room B-2

教育講演 24

9:10～11:10

膠原病における自己抗体の意義～病態・診断・治療をつなぐ最新知見～

.....オーガナイザー：長谷川 稔（福井大）
松下 貴史（金沢大）

[レベル：Basic／Advanced／Update]

- EL24-1. 自己抗体の産生機序と病原性について
9:10～9:55 中嶋 蘭〈なかしま らん〉
京都大学大学院医学研究科臨床免疫学
- EL24-2. 全身性エリテマトーデスにおける自己抗体とB細胞
9:55～10:20 桃原真理子〈ももはら まりこ〉
名古屋大学医学部附属病院皮膚科
- EL24-3. 皮膚筋炎における自己抗体
10:20～10:45 伏田奈津美〈ふしだ なつみ〉
金沢大学

EL24-4. 全身性硬化症（全身性強皮症）における自己抗体

10:45~11:10

植田 郁子〈うえだ いくこ〉

大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学教室

ランチョンセミナー 18

11:20~12:20

皮膚に塗る遺伝子治療?! - 知っておきたい表皮水疱症最前線 -

.....座長：久保 亮治（神戸大）

石河 晃（東邦大名誉教授）

LS18-1. 表皮水疱症を楽しむ～基礎から学ぶ病態・分類・診断～

赤坂英二郎〈あかさか えいじろう〉

弘前大学大学院医学研究科皮膚科

LS18-2. ここまで来た！表皮水疱症治療の最先端

森坂 広行〈もりさか ひろゆき〉

大阪大学大学院医学系研究科幹細胞遺伝子治療学共同研究講座

共催：クリスタルバイオテック・ジャパン株式会社

教育講演 32

15:05~17:05

全身性硬化症（全身性強皮症）診療の最前線～基礎・臨床研究から診断・治療戦略まで～

.....オーガナイザー：松下 貴史（金沢大）

沖山奈緒子（東京科学大）

[レベル：Basic/Advanced]

EL32-1. 全身性硬化症の基礎研究の進展

15:05~15:35

高橋 岳浩¹²⁾〈たかはし たけひろ〉

東北大学病院皮膚科¹⁾，東北大学ヘルススパン研究センター皮膚老化抑制研究分野²⁾

EL32-2. 全身性硬化症の臨床研究と最新治験の動向

15:35~16:05

小寺 雅也〈こでら まさなり〉

JCHO中京病院皮膚科

EL32-3. 全身性硬化症（全身性強皮症）診療ガイドライン 2025 のポイントと実臨床への応用

16:05~16:35

植田 郁子〈うえだ いくこ〉

大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学教室

EL32-4. 全身性硬化症の早期診断と早期介入における皮膚科医の役割

16:35~17:05

渡邊 友也〈わたなべ ともや〉

横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学

イブニングセミナー 15

17:15~18:15

手汗治療を続けたいと思ってもらうために～患者さんに寄り添う診察～

.....座長：大嶋雄一郎（愛知医大）

ES15-1. 当院で行う手掌多汗症診療—外用療法継続のための実践的工夫—

稲澤美奈子¹²⁾ 〈いなざわ みなこ〉

小杉町クリニック皮膚科形成外科¹⁾,

東京科学大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野²⁾

ES15-2. その手の汗が、人生を止めている—手掌多汗症という「見えない障害」に対し、どう介入すべきか—

佐々木 豪¹²⁾ 〈ささき ごう〉

医療法人佐々木皮膚科(盛岡市)¹⁾, 東京科学大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野²⁾

共催：久光製薬株式会社

第2日目 6月12日(金) 第9会場 1F Room C-1

教育講演 25

9:10~11:10

リキッドバイオプシーが変える皮膚がん診療：メラノーマと他臓器がんに学ぶ

.....オーガナイザー：緒方 大（宮崎大）

並川健二郎（国立がん研究センター中央病院）

[レベル：Update]

EL25-1. リキッドバイオプシーが変える大腸がん診療の最前線

9:10~9:40

坂東 英明 〈ばんどう ひであき〉

国立がん研究センター東病院医薬品開発推進部門

EL25-2. 進行期メラノーマにおけるリキッドバイオプシーの現状

9:40~10:10

中野 英司 〈なかの えいじ〉

国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科

EL25-3. リキッド革命の最前線—MRD 検査に基づく固形がん周術期治療開発の現状と展望—

10:10~10:40

小林 信 〈こばやし しん〉

国立がん研究センター東病院肝胆膵外科

EL25-4. リキッドバイオプシーが変える周術期メラノーマ診療の最前線

10:40~11:10

並川健二郎 〈なみかわ けんじろう〉

国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科

ランチョンセミナー 19

11:20~12:20

アトピー性皮膚炎と自然免疫座長：沖山奈緒子（東京科学大）

LS19-1. アトピー性皮膚炎における希少な免疫細胞・好塩基球の役割

三宅 健介 〈みやけ けんすけ〉

東京科学大学総合研究院

LS19-2. 免疫細胞と末梢感覚神経系の相互関連から診るアトピー性皮膚炎

溜 雅人〈たまり まさと〉

国立成育医療研究センター免疫アレルギー・感染研究部

共催：大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部

一般演題 7

15:05~16:05

治療薬・治療法, 創傷・褥瘡・熱傷 座長：安田 正人 (群馬大)
神谷 浩二 (自治医大)

- O7-1 (P6-8) アトピー性皮膚炎患者の痒みのパターン分類と感情分析：患者報告データのクラスタリング解析**
大塚 篤司¹⁾〈おおつか あつし〉, 甲田 多貴²⁾, 鍵谷 英明²⁾, 松尾 崇史²⁾,
檀上 淳一²⁾, 板倉 仁枝²⁾, 三木 康裕²⁾, 大佐賀 智²⁾
近畿大学医学部皮膚科¹⁾, 日本イーライリリー²⁾
- O7-2 (P6-22) アトピー性皮膚炎に対するデュピルマブ治療の奏功終了と長期継続を予測する説明可能 AI モデル構築**
石川 哲朗^{1,2,3,4)}〈いしかわ てつお〉, 芦崎 晃一^{1,4)}, 野村 有子¹⁾
野村皮膚科医院¹⁾, 理化学研究所数理創造研究センター数理展開部門²⁾,
慶應義塾大学医学部石井・石橋記念講座 (拡張知能医学)³⁾,
理化学研究所生命医科学研究センター予測医学特別プロジェクト⁴⁾
- O7-3 (P6-11) アレルギー性併存疾患を有する小児アトピー性皮膚炎患者の治療実態：JMDC データベース解析**
二村 昌樹¹⁾〈ふたむら まさき〉, 康 有美²⁾, A Singh³⁾, 檀上 淳一²⁾,
松尾 崇史²⁾, 板倉 仁枝²⁾, 長尾みづほ⁴⁾
国立病院機構名古屋医療センター小児科¹⁾, 日本イーライリリー²⁾,
Eli Lilly and Company³⁾, 国立病院機構三重病院臨床研究部⁴⁾
- O7-4 (P6-15) 他の生物学的製剤と比較した Risankizumab の 3 年間の実臨床下での有効性：VALUE 試験の中間解析**
今福 信一¹⁾〈いまふく しんいち〉, Diamant Thaci²⁾, 大槻マミ太郎³⁾,
Julia-Tatjan Maul⁴⁾, Andrea Szegedi⁵⁾, Paula C Luna⁶⁾, Charles W Lynde⁷⁾,
Hongwei Wang⁸⁾, Manish Patel⁸⁾, Tshepiso Madhlaba⁸⁾
福岡大学¹⁾, UoL²⁾, 自治医科大学³⁾, UoZ⁴⁾, UoD⁵⁾, Hospital Aleman⁶⁾,
Lynde Dermatology⁷⁾, AbbVie⁸⁾
- O7-5 (P6-16) 尋常性乾癬患者における, 実臨床下での risankizumab と deucravacitinib の治療切替率の比較**
木下 雄平¹⁾〈きのした ゆうへい〉, April Armstrong²⁾, Jordan Talia³⁾,
Manish Patel¹⁾, Chao Li¹⁾, Zachary Babcock¹⁾, Jashin J Wu⁴⁾
AbbVie¹⁾, UCLA²⁾, Icahn School of Medicine at Mount Sinai³⁾, University of Miami⁴⁾
- O7-6 (P6-20) 既存治療効果不十分なアタマジラム症を対象としたイベルメクチン 0.5% 外用剤の国内第 3 相試験成績**
山口さやか¹⁾〈やまぐち さやか〉, 高橋 健造¹⁾, 石井 則久²⁾, 小泉 映³⁾
琉球大学大学院医学研究院皮膚科学講座¹⁾, 国立療養所多磨全生園²⁾,
科研製薬株式会社³⁾

O7-7 (P6-24) アミロイド苔癬における表皮内神経切断を目的としたフラクショナル炭酸ガスレーザー治療

鹿児島 浩〈かごやま こう〉, 牧野 輝彦, 釣谷 美悠, 古川 史奈, 清水 忠道
富山大学学術研究部医学系皮膚科学

O7-8 (P24-4) スタチン内服と褥瘡発生リスク：静岡スタディからの新たな視点

橋爪 秀夫^{1,2)}〈はしづめ ひでお〉, 松浦 杏美¹⁾, 宮地 良樹³⁾
静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科ウエルネスみらい講座 (タイカ)¹⁾,
磐田市立総合病院皮膚科²⁾, 静岡社会健康医学大学院大学³⁾

一般演題 8

16:05~17:05

遺伝性疾患, 色素異常症 座長：種村 篤 (山形大)
種瀬 啓士 (東邦大大森病院)

O8-1 (P14-6) ATP2A2 の体細胞変異による indirect somatic genetic rescue を認めた表皮融解性魚鱗癬の 1 例

高見 紗瑛〈たかみ さえ〉, 村田 光麻, 野上 碧, 中谷 凌, 石原 朋典,
横山 聡子, 藤原 真鈴, 林 秀樹, 和田 吉弘, 金澤 伸雄
兵庫医科大学皮膚科

O8-2 (P20-4) 赤芽球性プロトポルフィリン症患者の出産時に実施した光線過敏症対策

竹内 佳那¹⁾〈たけうち かな〉, 浦崎 智恵¹⁾, 塚本 利朗¹⁾, 岩波 佑典²⁾,
大久保倫代³⁾, 長澤亜希子⁴⁾, 中田恵美里⁵⁾, 加瀬祐太郎⁶⁾, 赤坂英二郎⁷⁾, 猪爪 隆史¹⁾
千葉大学皮膚科¹⁾, 旭中央病院皮膚科²⁾, 東千葉メディカルセンター皮膚科³⁾,
千葉大学産科・婦人科⁴⁾, 千葉大学産科・婦人科, 遺伝子診療部⁵⁾,
千葉大学歯科・顎・口腔外科⁶⁾, 弘前大学皮膚科⁷⁾

O8-3 (P23-2) 赤芽球性プロトポルフィリン症の全国疫学調査

三澤 恵¹⁾〈みざわ めぐみ〉, 牧野 輝彦¹⁾, 川原 繁²⁾, 清水 忠道¹⁾
富山大学学術研究部医学系皮膚科学¹⁾, ソフィアひふ科クリニック²⁾

O8-4 (P25-2) 成人期に再燃した色素失調症の 1 例

小木曾達郎¹⁾〈おぎそ たつろう〉, 御子柴飛鳥¹⁾, 木庭 幸子¹⁾, 奥山 隆平¹⁾,
御子柴育朋²⁾
信州大学医学部附属病院皮膚科学教室¹⁾, みこしば皮膚科医院²⁾

O8-5 (P25-4) 白斑患者における社会的スティグマ—一般人 497 名が語る日本の現実—

岡村 賢¹⁾〈おかむら けん〉, 亀井 数正²⁾, 溝曾路祥孝²⁾, Soohyun Hwang³⁾,
Anna Dumas³⁾, Juliana Canosa⁴⁾, Samantha K. Kurosky⁵⁾
山形大学医学部皮膚科学講座¹⁾, ファイザー株式会社²⁾, Oracle Life Sciences³⁾,
Pfizer Brasil Ltda.⁴⁾, Pfizer Inc.⁵⁾

O8-6 (P25-6) 走査電子顕微鏡による元素分析により最終診断した限局性銀皮症の 1 例

小猿幸希子〈こざる ゆきこ〉, 藤野 三奈, 永田 遼, 田中 伶奈, 福満 祥子,
八木田隼啓, 小倉香奈子, 長野 徹
神戸市立医療センター中央市民病院

O8-7 (P26-5) 全身 MRI 検査を用いた神経線維腫症 1 型における叢状神経線維腫の検出

江原由布子〈えはら ゆうこ〉, 吉田 雄一
鳥取大学皮膚科

O8-8 (P26-8) HRAS 体細胞バリエーションを同定した phacomatosis pigmentokeratotic の 1 例
 山本 萌絵¹⁾ (やまもと もえ), 塩入 桃子¹⁾, 上田 佳奈¹⁾, 吉岡 愛育¹⁾,
 花房 宏昭²⁾, 久保 亮治¹⁾
 神戸大学医学部附属病院¹⁾, 神戸大学医学部附属病院遺伝子診療部²⁾

イブニングセミナー 16

17:15~18:15

座長：福田 知雄 (埼玉医科大学総合医療センター)

ES16. HAE 治療の新時代を切り拓くための原点回帰『Act early!』
 本田 大介 (ほんだ だいすけ)
 千葉大学大学院医学研究院腎臓内科学

共催：科研製薬株式会社

第 2 日目 6月12日 (金) 第 10 会場 1F Room C-2

一般演題 9

9:10~10:10

研究・診断・治療 座長：肥田 時征 (札幌医大)
 夏賀 健 (北海道大)

- O9-1 (P1-2) アトピー性皮膚炎日本人患者におけるレプリキズマブ治療反応と DNA メチル化の関連性**
 澤田 雄宇¹⁾ (さわだ ゆう), 松尾 崇史²⁾, Javier Briones Munoz³⁾,
 David C Gemperline³⁾, Zhe Sun³⁾, Jonathan T Sims³⁾, Angela J Okragly³⁾,
 Robert J Benschop³⁾, Victoria Serelli Lee²⁾, 梶島 健治⁴⁾
 産業医科大学¹⁾, 日本イーライリリー²⁾, Eli Lilly and Company³⁾, 京都大学⁴⁾
- O9-2 (P1-13) 神経線維腫症 1 型における腫瘍増殖および腫瘍中マスト細胞の二重標的治療開発**
 山本 美佐 (やまもと みさ), 小金丸理世, 藤川 竣典, 糸井 竣真
 山口大学大学院医学系研究科病態検査学
- O9-3 (P1-6) β-ガラクトシルセラミドは UVB・AD で障害される表皮タイトジャンクションを改善する**
 五十嵐多美¹⁾ (いがらし たみ), 八木 政幸¹⁾, 芋川 玄爾²⁾
 ロゼット株式会社¹⁾, 宇都宮大学²⁾
- O9-4 (P1-8) アトピー性皮膚炎患者皮膚検体の 1 細胞解析による好塩基球の遺伝子発現解析**
 三宅 健介¹⁾ (みやけ けんすけ), 生田目 拓²⁾, 飯田 忠恒²⁾, 宇賀神つかさ^{2,3)},
 土屋 貴洋⁴⁾, 烏山 一¹⁾, 沖山奈緒子²⁾
 東京科学大学総合研究院¹⁾, 東京科学大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野²⁾,
 武蔵野赤十字病院皮膚科³⁾, 大塚製薬メディカルアフケアーズ部⁴⁾
- O9-5 (P1-4) 痒みならびに皮膚バリア機能に及ぼす向精神薬の影響**
 鎌田 弥生¹⁾ (かまた やよい), 宮川 晃一²⁾, 内海 潤¹⁾, 富永 光俊¹⁾,
 高森 建二^{1,3)}
 順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所・順天堂かゆみ研究センター¹⁾,
 順天堂大学医学部附属浦安病院メンタルクリニック²⁾,
 順天堂大学医学部附属浦安病院皮膚科³⁾

- O9-6 (P2-1) AI を活用した皮膚科論文統計解析と執筆の実際**
 生野 泰彬¹⁾〈いくの やすあき〉, 岸本くるみ¹⁾, 山田 昌弘¹⁾, 小林 佳道¹⁾,
 前田 泰広¹⁾, 小池 隆弘¹⁾, 山口 明彦¹⁾, 高橋 聡文¹⁾, 荒川 明子^{1,2)}, 藤本 徳毅¹⁾
 滋賀医科大学皮膚科学講座¹⁾, ミュンヘン大学²⁾
- O9-7 (P4-1) 乳児皮膚バリア機能の非侵襲的分子解析技術の開発：皮脂中 mRNA 解析技術の活用**
 岩村真恵子¹⁾〈いわむら まえこ〉, 志摩 恭子¹⁾, 深川 聡子²⁾, 林 和彦¹⁾,
 滝口 輝澄¹⁾, 清水 貴大¹⁾, 清水 映里³⁾, 荒川 貴行³⁾, 井上 高良¹⁾, 桑野 哲矢¹⁾
 花王株式会社スキンケア研究所¹⁾, 花王株式会社ヒューマンヘルスケア研究所²⁾,
 花王株式会社解析科学研究所³⁾
- O9-8 (P4-6) 群馬大学皮膚科における基底細胞癌のキャピラロスコピー所見の後方視的解析**
 齋藤晋太郎〈さいとう しんたろう〉, 栗山 裕子, 内山 明彦, 安田 正人,
 茂木精一郎
 群馬大学大学院医学系研究科皮膚科学

一般演題 10

10:10~11:10

リンパ腫と類症, メラノサイト系腫瘍座長：村尾 和俊 (徳島大)
 田中 了 (川崎医大)

- O10-1 (P31-11) 東北大学皮膚科において経験した菌状息肉症 57 例における疾患予後解析**
 小林 愛里〈こばやし あいり〉, 藤村 卓, 山崎 絵美, 渡邊 愛美,
 瀬川康二郎, 武藤 雄介, 玉渕恵里佳, 神林 由美, 橋本 彰, 浅野 善英
 東北大学病院皮膚科
- O10-2 (P31-1) バリシチニブ治療中のアトピー性皮膚炎患者において原発性皮膚 CD30 陽性リンパ増殖性疾患を考慮した 1 例**
 丹羽 宏文¹⁾〈にわ ひろふみ〉, 井上 円¹⁾, 川瀬 香奈¹⁾, 水谷 陽子¹⁾,
 酒々井夏子²⁾, 岩田 浩明¹⁾
 岐阜大学皮膚科¹⁾, 岐阜大学病理部²⁾
- O10-3 (P31-3) 頭部に巨大な隆起性局面を形成した芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の 1 例**
 石川 英里¹⁾〈いしかわ えり〉, 西原 克彦¹⁾, 桑折 信重¹⁾, 吉田 諭¹⁾,
 八束 和樹¹⁾, 武藤 潤¹⁾, 白石 研¹⁾, 岡 浩司²⁾, 加藤 潤一²⁾, 藤澤 康弘¹⁾
 愛媛大学大学院医学系研究科皮膚科学¹⁾,
 愛媛大学大学院医学系研究科血液・免疫・感染症内科学²⁾
- O10-4 (P31-9) Wolf's isotopic response として生じた原発性皮膚 CD4 陽性小型・中型 T 細胞リンパ増殖異常症の 1 例**
 内田 百佳¹⁾〈うちだ ももか〉, 近藤 諒¹⁾, 倉片 彬臣¹⁾, 荒瀬 琴乃¹⁾,
 山田 雄大¹⁾, 濱田 利久¹⁾, 松岡 亮介²⁾, 林 雄一郎²⁾, 河村 麻佑³⁾, 菅谷 誠¹⁾
 国際医療福祉大学皮膚科¹⁾, 国際医療福祉大学病理診断科²⁾,
 東京女子医科大学八千代医療センター皮膚科³⁾
- O10-5 (P32-13) ステージ III 悪性黒色腫におけるリンパ節郭清の意義：術後補助療法導入前後の治療成績比較**
 山崎 絵美〈やまざき えみ〉, 藤村 卓, 渡邊 愛美, 小林 愛里, 入間田萌花,
 武藤 雄介, 玉渕恵里佳, 神林 由美, 橋本 彰, 浅野 善英
 東北大学皮膚科
- O10-6 (P32-1) 原発不明悪性黒色腫 8 例の報告**
 陣内 駿一〈じんない しゅんいち〉, 高橋 聡

国立がん研究センター東病院

O10-7 (P32-3) 包括的がんゲノムプロファイリングを用いた治療標的の同定と臨床応用：メラノーマ4症例の検討

石月翔一郎¹⁾〈いしづき しょういちろう〉, 青木佐由美¹⁾, 関山 竜五¹⁾,
鈴木 魁杜¹⁾, 前田 拓哉¹⁾, 上原 治朗¹⁾, 後藤 啓介²⁾, 秋谷 昌史²⁾, 北野 滋久³⁾,
吉野 公二¹⁾

がん研究会有明病院皮膚腫瘍科¹⁾, がん研究会有明病院病理部²⁾,
がん研究会有明病院先端医療開発科³⁾

O10-8 (P32-8) 「悪性黒色腫」って知ってましたか？—皮膚科初診患者を対象とした疾患認知度調査—

結城 明彦¹⁾〈ゆうき あきひこ〉, 竹之内辰也¹⁾, 林 政雄^{1,2)}, 高塚 純子¹⁾
新潟県立がんセンター新潟病院皮膚科¹⁾, 富山大学附属病院皮膚科²⁾

ランチョンセミナー 20

11:20～12:20

座長：大槻マミ太郎（自治医大）

LS20. 今日の乾癬治療戦略を考える ～Complexity Landscape の視点から～

森田 明理〈もりた あきみち〉

名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科学分野

共催：セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社

一般演題 11

15:05～16:05

感染症座長：竹田 公信（金沢医大）
荒川 明子（滋賀医大）

O11-1 (P33-3) 難治性手指手掌多発尋常性疣贅に生じた多発 HPV 関連表皮内癌の 1 例

荒木 健¹⁾〈あらか たけし〉, 栗山 裕子¹⁾, 安田 正人¹⁾, 安澤 数史²⁾,
清水 晶²⁾, 後藤 啓介^{3,4)}, 茂木精一郎¹⁾

群馬大学大学院医学系研究科皮膚科学¹⁾, 金沢医科大学皮膚科学²⁾,
静岡がんセンター病理診断科³⁾, 大阪国際がんセンター病理・細胞診断科⁴⁾

O11-2 (P33-8) 自己免疫性水疱症に合併したサイトメガロウイルス感染に対する抗ウイルス療法の臨床的検討

遠藤 雪恵〈えんどう ゆきえ〉, 石井 徹, 井上 裕太, 安田 正人, 茂木精一郎
群馬大学大学院医学系研究科皮膚科

O11-3 (P34-5) 歯科で見逃された外歯瘻の 1 例と、当院における外歯瘻患者 38 例の臨床的検討

岩田詩保美〈いわた しおみ〉, 人見 勝博, 福田 知雄
埼玉医科大学総合医療センター皮膚科

O11-4 (P34-10) 日本における COVID-19 パンデミック中の蜂窩織炎の発症率および重症度の分析

佐藤 知世¹⁾〈さとう ともよ〉, 阿部 計大²⁾, 宮脇 敦士³⁾, 大西 浩文⁴⁾,
宇原 久¹⁾

札幌医科大学皮膚科学講座¹⁾, 北海道大学大学院医学研究院医療政策評価学²⁾,
筑波大学医学医療系社会医学研究グループ公共健康政策分野³⁾,
札幌医科大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野⁴⁾

- O11-5 (P34-7) 多臓器に膿瘍を生じた劇症型溶血性連鎖球菌感染症の1例**
 谷本 玲奈¹⁾〈たにもと れいな〉, 吉田 諭¹⁾, 宮上 眸²⁾, 桑折 信重¹⁾,
 西原 克彦¹⁾, 八東 和樹¹⁾, 武藤 潤¹⁾, 白石 研¹⁾, 藤澤 康弘¹⁾
 愛媛大学医学部附属病院皮膚科¹⁾, 愛媛大学医学部附属病院産婦人科²⁾
- O11-6 (P35-4) 爪白癬は大腿骨近位部骨折リスクと関連するか：静岡スタディを用いたリアルワールドエビデンス**
 松浦 杏美¹⁾〈まつうら あんみ〉, 橋爪 秀夫^{1,2)}, 宮地 良樹³⁾
 静岡社会健康医学大学院大学ウエルネスみらい講座 (タイカ)¹⁾,
 磐田市立総合病院皮膚科²⁾, 静岡社会健康医学大学院大学³⁾
- O11-7 (P36-1) 全身に広範囲に及ぶ紅斑を呈した *Mycobacterium haemophilum* 感染症の1例**
 加倉井真主¹⁾〈かくらい まさかず〉, 明石 巧¹⁾, 人見 重美²⁾, 盛山 吉弘¹⁾
 総合病院土浦協同病院¹⁾, 筑波大学附属病院²⁾
- O11-8 (P36-3) デブリドマンが有用であった *Mycobacterium peregrinum* による腹膜透析カテーテル関連感染症の1例**
 宇佐美心手¹⁾〈うさみ しんじゅ〉, 古市 祐樹¹⁾, 高橋ちあき¹⁾, 山内 遥²⁾,
 麻生 満広²⁾, 安西 秀美¹⁾
 川崎市立井田病院皮膚科¹⁾, 川崎市立井田病院腎臓内科²⁾

一般演題 12

16:05~17:05

付属器疾患, 全身疾患と皮膚 ……………座長：伊藤 泰介 (浜松医大)
 福永 淳 (大阪医科薬科大)

- O12-1 (P38-3) JAK 阻害剤による瘡癤の発症機構解明：JAK 阻害剤は皮脂産生を促進する**
 小岩井利一¹⁾〈こいわい としかず〉, 林 明子²⁾, 内藤美和子¹⁾, 佐藤 隆¹⁾
 東京薬科大学薬学部生化学教室¹⁾, 東京薬科大学薬学部機能形態学教室²⁾
- O12-2 (P38-11) ざ瘡患者における抗菌薬の使用と薬剤耐性アクネ菌の関連性**
 石田 和加¹⁾〈いしだ わか〉, 吉原 昂洋²⁾, 瀬山 翔史²⁾, 中南 秀将²⁾
 わか皮ふ科クリニック¹⁾, 東京薬科大学・薬学部・臨床微生物学教室²⁾
- O12-3 (P38-12) 難治性酒皰における毛包虫寄生の実態とイベルメクチン全身投与の有効性の検討**
 洲崎 玲子^{1,2)}〈すざき れいこ〉, 山上 淳²⁾, 陳 科榮¹⁾
 目黒陳皮膚科クリニック¹⁾, 東京女子医科大学皮膚科²⁾
- O12-4 (P38-17) 順天堂大学浦安病院皮膚科における化膿性汗腺炎 63 例の臨床的検討**
 大谷麻由良〈おおたに まゆら〉, 金子 高英, 加藤 壘, 岸 龍馬,
 豊澤 優衣, 高森 建二, 須賀 康
 順天堂大学医学部附属浦安病院皮膚科
- O12-5 (P39-3) 男性型脱毛症における皮脂中 mRNA および男性ホルモンを対象とした非侵襲的統合分析技術の開発**
 田中 翔大¹⁾〈たなか しょうだい〉, 藤松 輝久²⁾, 福田 令子³⁾, 大矢 直樹¹⁾,
 井上 高良¹⁾
 花王株式会社スキンケア研究所¹⁾, 花王株式会社バイオマテリアルサイエンス研究所²⁾,
 花王株式会社ヘアケア研究所³⁾

O12-6 (P39-4) 円形脱毛症患者へのウパダシチニブの有効性と安全性—Ph3 UP-AA 臨床試験日本人サブ解析

原田 和俊¹⁾〈はらだ かずとし〉, 下村 裕²⁾, 伊藤 泰介³⁾, Arash Mostaghimi⁴⁾,
Melinda J Gooderham⁵⁾, Henrique D Teixeira⁶⁾, Andreas Lazar⁶⁾,
Thierry Passeron⁷⁾, 大山 学⁸⁾
東京医科大学¹⁾, 山口大学²⁾, 浜松医科大学³⁾, Brigham and Women's Hospital, US⁴⁾,
SKiN Centre for Dermatology, Canada⁵⁾, AbbVie Inc.⁶⁾,
Cote d'Azur University, France⁷⁾, 杏林大学⁸⁾

O12-7 (P40-1) 炎症性/非炎症性特発性後天性全身性無汗症の臨床的特徴と治療後の自覚症状の転帰の比較

住谷 惇治〈すみたに じゅんじ〉, 吉谷 州太, 森脇 真一, 福永 淳
大阪医科薬科大学皮膚科

O12-8 (P41-2) 当科において過去 20 年間に経験した転移性皮膚腫瘍 108 例の臨床病理学的検討

大浦 葉子〈おおうら ようこ〉, 山本 俊幸
福島県立医科大学皮膚科

イブニングセミナー 17

17:15~18:15

Redefining Dermatologic Care—治療体験を重視した臨床アプローチ—

.....座長：山田 秀和（近畿大）

ES17-1. A Multimodal approach to managing Ageing and pigmentation in Japanese patients

Samantha Davidson
Gold Coast Dermatology Clinic

ES17-2. 患者 QOL を意識した低疼痛治療—酒さ・紅斑から加齢性肌変化まで—

原 かや〈はら かや〉
八重洲形成外科・美容皮膚科

共催：アルマレーザーズ・ジャパン株式会社

第 2 日目 6月12日(金) **第 11 会場** 1F Room 157

教育講演 26

9:10~11:10

肉芽腫性疾患は面白い！オーガナイザー：山本 俊幸（福島県立医大）
神戸 直智（兵庫医大）

[レベル：Basic]

EL26-1. 環状肉芽腫，リポイド類壊死症およびその他の疾患—肉芽腫形成パターンの再検討—

9:10~9:40 植田 郁子〈うえだ いくこ〉
大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学教室

EL26-2. サルコイドーシスの多彩な皮膚症状 Update

9:40~10:10 山本 俊幸〈やまもと としゆき〉
福島県立医科大学皮膚科

EL26-3. サルコイドーシスの病態 Update

10:10~10:40 中溝 聡^{1,2)}〈なかみぞ さとし〉
京都大学大学院医学研究科先端医療基盤共同研究講座¹⁾,
京都大学大学院医学研究科皮膚科学²⁾

EL26-4. ブラウ症候群

10:40~11:10 神戸 直智〈かんべ なおとも〉
兵庫医科大学皮膚科

ランチョンセミナー 21

11:20~12:20

慢性炎症性皮膚疾患を読み解く—T細胞を軸とした病態多様性の理解—

.....座長：天野 博雄（岩手医大）
井川 健（獨協医大）

LS21-1. 慢性炎症性皮膚疾患の病態と T 細胞

本田 哲也〈ほんだ てつや〉
浜松医科大学皮膚科学講座

LS21-2. 炎症性皮膚疾患の診断と評価指標を再考する

藤田 英樹〈ふじた ひでき〉
日本大学医学部皮膚科学系皮膚科学分野

共催：協和キリン株式会社 メディカルアフェアーズ部

教育講演 33

15:05~17:05

留学のすゝめ2026@皮膚科学会総会オーガナイザー：吉岡 華子（大阪大）
米倉 慧（京都大）

[レベル：Basic]

15:05~15:10 **Opening remarks**

EL33-1. 研究者と家族を支援するケイロン・イニシアチブと海外日本人研究者ネットワーク UJA の取り組み

15:10~15:15 足立 剛也^{1,2,3,4,5)}〈あだち たけや〉
慶應義塾大学医学部皮膚科学教室¹⁾, 慶應義塾大学病院アレルギーセンター²⁾,
NPO法人ケイロン・イニシアチブ³⁾,
一般社団法人海外日本人研究者ネットワーク (UJA)⁴⁾, ENGAGEタスクフォース⁵⁾

EL33-2. ENGAGE の取り組み

15:15~15:20 松岡 悠美¹⁾〈まつおか ゆうみ〉, 米倉 慧²⁾, 中島沙恵子²⁾, 吉岡 華子³⁾,
足立 剛也⁴⁾
大阪大学免疫学フロンティア研究センター皮膚アレルギー生体防御¹⁾,
京都大学大学院医学研究科皮膚科²⁾, 大阪大学大学院医学研究科皮膚科³⁾,
慶應義塾大学医学部皮膚科⁴⁾

EL33-3. 研究留学@NY から学んだこと

15:20~15:35 渋谷倫太郎〈しぶや りんたろう〉
京都大学医学部附属病院皮膚科

- EL33-4.** **Dermatopathology International Observership at the University of Pennsylvania に参加して**
 15:35~15:50 平井 郁子〈ひらい いくこ〉
 慶應義塾大学皮膚科
- EL33-5.** **英国における研究留学経験—The Francis Crick Institute での研究活動を通じて—**
 15:50~16:05 宮内 俊成〈みやうち としなり〉
 北海道大学大学院医学研究院皮膚科学教室
- EL33-6.** **フランスへの研究留学のすすめ—パリ・サクレ大学での PhD 取得経験から**
 16:05~16:15 米倉 慧¹²⁾〈よねくら さとる〉
 京都大学大学院医学研究科皮膚科学¹⁾, ENGAGE-TF²⁾
- EL33-7.** **カロリンスカ研究所での 2 年間とその後**
 16:15~16:25 吉岡 華子〈よしおか はなこ〉
 大阪大学大学院医学系研究科皮膚科
- 16:25~17:05 **パネルディスカッション**

イブニングセミナー 18

17:15~18:15

乾癬治療 up to date 座長：五十嵐敦之（いがらし皮膚科東五反田）
 梅澤 慶紀（東京慈恵会医大）

- ES18-1.** **トルツ 10 年の歩みと実臨床での価値：クリニックにおける乾癬 Bio 治療の実践**
 井上 知宏〈いのうえ ともひろ〉
 いのうえ皮膚科
- ES18-2.** **トルツの好適患者像を再考する～早期治療の意義と実践～**
 山中 恵一〈やまなか けいいち〉
 三重大学大学院医学系研究科皮膚科学

共催：日本イーライリリー株式会社

第 2 日目 6月12日(金) 第 12 会場 B2F プリンスホール

教育講演 27

9:10~11:10

明日からの患者指導に役立つ日焼け対策と光老化の予防

..... オーガナイザー：森脇 真一（大阪医科薬科大）
 森田 明理（名古屋市立大）

[レベル：Basic]

- 9:10~9:16 **日本化粧品学会の紹介**
- EL27-1.** **光によって生じる皮膚疾患と老化**
 9:16~9:44 森脇 真一〈もりわき しんいち〉
 大阪医科薬科大学皮膚科
- EL27-2.** **こどもの日焼け対策**
 9:44~10:12 工藤 恭子〈くどう きょうこ〉
 福岡市立こども病院皮膚科

- EL27-3. サンスクリーン製品の選び方，使い方—紫外線防御効果を実感するために**
 10:12~10:40 藤原留美子^{1,2)}〈ふじわら るみこ〉
 株式会社資生堂みらい開発研究所¹⁾，日本化粧品工業会フォトプロテクション部会²⁾
- EL27-4. サンスクリーン製品の新規効能表現に関するガイドライン改訂版 2025 概要**
 10:40~11:08 森田 明理〈もりた あきみち〉
 名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科学
- 11:08~11:10 終わりに

教育講演 34

15:05~17:05

視診を超えて捉える皮疹の「かたち」～皮膚かたち講習会～

.....オーガナイザー：本田 哲也（浜松医大）
 乃村 俊史（筑波大）

[レベル：Basic/Advanced]

- EL34-1. ダーモスコピーの診かた**
 15:05~15:35 古賀 弘志〈こが ひろし〉
 北戸田アルプス皮膚科
- EL34-2. 病理はマクロが9割**
 15:35~16:05 後藤 啓介^{1,2,3,4,5,6,7,8,9)}〈ごとう けいすけ〉
 がん研究会有明病院臨床病理センター病理部¹⁾，都立駒込病院病理科²⁾，
 東京医科大学人体病理学分野³⁾，静岡がんセンター病理診断科⁴⁾，
 中東遠総合医療センター病理診断科⁵⁾，大阪国際がんセンター病理・細胞診断科⁶⁾，
 大阪医療センター病理診断科⁷⁾，兵庫県立がんセンター病理診断科⁸⁾，
 鹿児島医療センター皮膚腫瘍科⁹⁾
- EL34-3. 皮膚腫瘍エコーのエッセンス**
 16:05~16:35 森本 広樹〈もりもと ひろき〉
 浜松医科大学皮膚科
- EL34-4. 皮膚エコーの応用編：様々な場面で活躍する皮膚エコー**
 16:35~17:05 中村 貴之〈なかむら よしゆき〉
 筑波大学医学医療系皮膚科

第2日目 6月12日(金) 第13会場 B2F ゴールドルーム

教育講演 28

9:10~11:10

小児の膠原病と類縁疾患.....オーガナイザー：浅野 善英（東北大）
 新井 達（聖路加国際病院）

[レベル：Basic]

- EL28-1. 小児期発症の全身性硬化症の臨床的特徴 全国調査結果を踏まえて**
 9:10~9:40 金子 詩子〈かねこ うたこ〉
 新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野

- EL28-2.** 小児期発症の限局性強皮症の臨床的特徴 全国調査結果を踏まえて
9:40~10:10 濱口 儒人〈はまぐち やすひと〉
金沢大学医薬保健研究域医学系皮膚分子病態学
- EL28-3.** 小児 SLE, 若年性皮膚筋炎の臨床的特徴と皮膚科医に必要な知識~本邦ガイドラインを踏まえて~
10:10~10:40 森 雅亮^{1,2)}〈もり まさあき〉
東京科学大学生涯免疫医療実装講座¹⁾,
聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・アレルギー内科²⁾
- EL28-4.** 小児全身性エリテマトーデスと若年性皮膚筋炎診療における皮膚症状の臨床的意義と、その治療戦略
10:40~11:10 新井 達〈あらい さとる〉
聖路加国際病院

教育実習セミナー『ダーモスコピー』(1回目) 15:05~17:05

オーガナイザー：外川 八英 (千葉大)
坂井 浩志 (大阪けいさつ病院)
皆川 茜 (信州大/東京女子医大附属足立医療センター)

技術協力：カシオ計算機株式会社

第2日目 6月12日(金) **第14会場** 5F Room 510

Oral Presentation in English 3 9:10~10:10

Autoimmune disease, Infectious disease

.....Chairs : Norito Ishii (Kurume University)
Koremasa Hayama (Nihon University)

- E3-1 (EP8-2) Clinical Significance of Anti-NXP2 ELISA Titers in Idiopathic Inflammatory Myopathies**
○Satoshi Kamiya¹⁾, Mariko Ogawa-Momohara¹⁾, Eori Noda¹⁾, Norika Akashi¹⁾,
Yuta Yamashita¹⁾, Haruka Koizumi²⁾, Takuya Takeichi¹⁾, Yoshinao Muro¹⁾,
Masashi Akiyama¹⁾
Department of Dermatology, Nagoya University Graduate School of Medicine,
Nagoya¹⁾, Department of Dermatology, Toyota Memorial Hospital, Toyota²⁾
- E3-2 (EP8-1) Differences between Immune Checkpoint Inhibitor-Related and -Unrelated Bullous Pemphigoid**
○Min Zou, Xun Feng, Jishu Li, Wei Li
Department of Dermatology and Venereology, West China Hospital, Sichuan
University, Chengdu
- E3-3 (EP8-7) Anti-PM/Scl Myositis Shows Stronger Cutaneous T-cell Activation Than Anti-ARS Myositis.**
○Norika Akashi, Mariko Ogawa-Momohara, Yoshinao Muro, Takashi Yokoyama,
Satoshi Kamiya, Yuta Yamashita, Haruka Koizumi, Takuya Takeichi,
Masashi Akiyama

The Department of Dermatology, Nagoya University, Nagoya

E3-4 (EP8-8) Early Pathogenic Autoantibody Dynamics Following IVIG in Autoimmune Blistering Diseases

○Tomoyuki Hioki¹⁾, Ryota Asahina^{1,2)}, Hiroaki Iwata¹⁾

Department of Dermatology, Gifu University Graduate School of Medicine, Gifu¹⁾,
Center for one Medicine Innovative Translational Research (COMIT), Institute for
Advanced Study, Gifu University, Gifu²⁾

E3-5 (EP8-6) Anti-PM/Scl-Positive Dermatomyositis : A Diagnostic Pitfall for Bazex Syndrome

○Mayuko Matsuda¹⁾, Yoshio Kawakami¹⁾, Ko Sunagawa¹⁾, Ken-Ichi Hasui¹⁾,
Hitoshi Urakami²⁾, Satoru Sugihara¹⁾, Taisuke Kanno¹⁾, Yoshinao Muro³⁾,
Shin Morizane¹⁾

Department of Dermatology, Okayama University Graduate School of Medicine,
Dentistry, and Pharmaceutical Science, Okayama¹⁾, Department of Dermatology,
Shimane University Faculty of Medicine, Izumo²⁾, Department of Dermatology,
Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya³⁾

E3-6 (EP11-6) HPV in Skin Tissues of Asian Organ Transplant Recipients with Squamous Cell Carcinoma

○Choon Chiat Oh

Department of Dermatology, Singapore General Hospital, Singapore

E3-7 (EP11-11) Cutaneous Manifestations Among the Reemergence of Early Congenital Syphilis : 10-Year Study

○Leelawadee Techasatian, Piyadarat Asawasakulchokedee

Department of Pediatrics, Khon Kaen University, Khon Kaen

E3-8 (EP11-3) Adult Siblings with Cutaneous Botryomycosis Revealing X-linked Agammaglobulinemia

○Michiyo Takeuchi^{1,5)}, Yo Kaku¹⁾, Keiko Hashikawa¹⁾, Masaki Tominaga²⁾,
Ryuta Nishikomori³⁾, Yutaka Tsutsumi⁴⁾, Hiroshi Koga¹⁾

Department of Dermatology, Kurume University School of Medicine, Kurume¹⁾,
Division of Respiriology, Neurology and Rheumatology, Department of Community
Medicine, Kurume University School of Medicine, Kurume²⁾, Department of Pediatrics
and Child Health, Kurume University School of Medicine, Kurume³⁾, Diagnostic
Pathology Clinic, Pathos Tsutsumi, Inazawa⁴⁾, Public Yame General Hospital, Yame⁵⁾

Oral Presentation in English 4

10:10~11:10

Inflammatory disease, Others

.....Chairs : Teruhiko Makino (University of Toyama)
Hiroshi Kato (Nagoya City University)

E4-1 (EP6-5) Catestatin restores skin barrier and ameliorates atopic dermatitis via Notch1/PKC

○Ge Peng¹⁾, Abudouwanli Alafate¹⁾, Quan Sun¹⁾, Wanchen Zhao¹⁾, Yi Tan¹⁾,
Mengyao Yang¹⁾, Hideoki Ogawa¹⁾, Ko Okumura¹⁾, Francois Niyonsaba^{1,2)}

Atopy (Allergy) Research Center, Juntendo University Graduate School of Medicine,
Tokyo¹⁾, Faculty of International Liberal Arts, Juntendo University, Tokyo²⁾

E4-2 (EP6-8) The physiological roles of Mrgprb2/MRGPRX2 in skin inflammation

○Ayako Kaitani, Kumi Izawa, Tomoaki Ando, Akie Maehara, Naoko Negishi,
Nobuhiro Nakano, Ko Okumura, Jiro Kitaura

Atopy (Allergy) Research Center, Juntendo University Graduate School of Medicine,
Tokyo

- E4-3 (EP6-9) Local T-cell Subset Bias Differences in Inflammatory Alopecia Disorders**
 ○Qitao Chen, Wenyu Wu, Jinran Lin, Qingmei Liu
 Department of Dermatology, Huashan Hospital, Fudan University, Shanghai
- E4-4 (EP6-4) KT-621, an Oral, Once Daily STAT6 Degradator : PK, PD and Safety in Healthy Japanese Adults**
 ○Sagar Agarwal, Alice A McDonald, Evelyn Wang, Arsalan Shabbir, Heather Paleczny, Chad Nivens, Nello Mainolfi, Jared Gollob, Michael B Feldman
 Kymera Therapeutics, Inc., Watertown
- E4-5 (EP6-6) Caffeine ameliorates atopic dermatitis-like inflammation in a mouse model**
 ○Yi Tan¹⁾, Ge Peng¹⁾, Wanchen Zhao¹⁾, Alafate Abudouwani¹⁾, Quan Sun¹⁾, Mengyao Yang¹²⁾, Hideoki Ogawa¹⁾, Ko Okumura¹⁾, Francois Niyonsaba¹³⁾
 Atopy (Allergy) Research Center, Juntendo University Graduate School of Medicine, Tokyo¹⁾, Department of Dermatology, the First Affiliated Hospital of China Medical University, Shenyang²⁾, Faculty of International Liberal Arts, Juntendo University, Tokyo³⁾
- E4-6 (EP6-1) GZMB as a Vesicle Transport Related Gene Promoting Inflammatory Response in Rosacea**
 ○Chenchen Wu¹²⁾, Bo Yu²⁾, Ming Zhao¹⁾
 Hospital for Skin Diseases, Institute of Dermatology, Chinese Academy of Medical Sciences and Peking Union Medical College, Nanjing¹⁾, Department of Dermatology, Peking University Shenzhen Hospital, Shenzhen²⁾
- E4-7 (EP6-12) Validation and Responsiveness of the Rosacea Area and Severity Index in a Chinese Cohort**
 ○Yukun Wang, Hongjie Luo, Xian Jiang
 Department of Dermatology & Venereology, West China Hospital, Sichuan University, Chengdu
- E4-8 (EP12-11) Can Deeper-Wavelength Optical Imaging Improve Skin Visualization? RCM and HGM Comparison**
 ○Connie Liu
 Department of Dermatology, Taipei City Hospital, Taipei